

# アタックモルタル MA-100の標準施工要領書

テクノスジャパン株式会社

## アックモルタル MA-100 の作業手順について

### ● アックモルタル MA-100 の作業手順

- (1) コンクリート躯体の劣化部除去  
脆弱層を残さないよう除去して下さい。(必ず、確認して下さい。)
- (2) プライマー(テックス7)の塗布  
噴霧器を使用し、塗り残しがないように施工して下さい。(刷毛及びローラー刷毛の場合は、くぼみに付き難いので注意して下さい。)  
下地への吸い込みが、はやい場合は、再度噴霧して下さい。
- (3) 攪拌
  - 1) ハンドミキサーを使用する場合
    - ①水(上水道水)の計量。
    - ②ペール缶に計量した水のうち9割程度入れ、アックモルタル MA-100 を約 2/3 投入して攪拌して下さい。
    - ③全体が混合された状態で、アックモルタル MA-100 の残り約 1/3 を投入するとスムーズに攪拌することが出来ます。
    - ④全体が混合された後、残りの水により適度な作業粘度に調整して下さい。
    - ⑤アックモルタル MA-100 を練り混ぜ後、5分後に再度30秒程度攪拌した場合、さらに作業性が良好になります。
  - 2) モルタルミキサーを使用する場合(2袋を一度に練り混ぜる場合)
    - ①水を計量。(1回練り分の水を計量)
    - ②アックモルタル MA-100 を1袋投入し、約 1.5 袋分の水を徐々に投入して下さい。
    - ③アックモルタル MA-100 の2袋目を投入し、残りの水を投入して下さい。
    - ④全体が混合された後、残りの水により粘度調整して下さい。

#### (4) 塗り付け

##### 1) こて塗り

- ①モルタルがコンクリートの凹部に詰まるように金ごてにて十分に圧着させて下さい。  
(コンクリートの凹部に圧着できていない場合は、モルタルの浮き・フクレが発生します。)
- ②凹部に圧着させた後、直ちに所定の厚さになるように塗り付けて下さい。  
(一度に厚く塗り付けた場合は、凹部に十分に圧着できず、モルタルの浮き・ふくれが発生し易くなります。)
- ③硬化後にアックセル MA-100 を塗り重ねる場合は、予めくし目を入れ、テックス7を塗布し、再度①・②の工程を行って下さい。
- ④表面仕上げは、コテにより押さえながら仕上げして下さい。  
(金ごてで押えすぎ及び均しすぎないように注意して下さい。)

※1 壁面の場合は、出来る限り1日の内に仕上げまで行って下さい。

※2 硬化後、表面の強度が低い(表面が白い粉状または簡単に削れる状態)場合は、必ず、その部分を除去して下さい。

##### 2) 吹き付け

- ①モルタルポンプ：スクイーズ式ポンプ(吐出量の調節が出来るタイプ)  
：ホッパー・ホース・ガン・コンプレッサー
- ②ホース等をセットし水を通した後、セメントペースト(セメント10kg程度)を通して下さい。(アックセル MA-100 がホース内を通り易くする為に必要です。)
- ③その後、アックセル MA-100 をホッパーに入れ、ホースの先端まで材料が来たことを確認し、ガンをセットして下さい。
- ④吐出量は、施工能力に合うように調節して下さい。
- ⑤1回の吹き付け厚さは、天井面は、10~20mm(自重でモルタルが落下するため)壁面は、40mm程度。
- ⑥硬化後にアックセル MA-100 を塗り重ねる場合は、予めくし目を入れておき、テックス7を塗布し、所定の厚さになるまで繰り返して下さい。
- ⑦吹き付け後、表面仕上げは、コテにより押さえながら仕上げして下さい。  
(金ごてで押えすぎ及び均しすぎないように注意して下さい。)

※ ホース内にエアーが入らないようにして下さい。  
(ホッパーの管理が必要です。)

(5) 夏季及び直射日光の当る場所等での施工について

(アタックモルタル MA-100 の下地コンクリートへの急激な水分の吸い込み防止対策)

1) 施工前の対策

- ①直射日光により下地コンクリートの温度が上昇するのを防止する為に、シート養生等を行って下さい。
- ②下地コンクリートが高温になっている場合は、散水等により温度を下げて下さい。  
(但し、プライマーを塗布する時は、浮き水が無い状態で行って下さい。)

2) プライマー(テックス7)工程での対策

- ①テックス7を塗布した時に、下地コンクリートへの吸い込みが、はやい場合は、再度塗布して下さい。
- ②テックス7を塗布し、指触乾燥(手に付かない状態)の後に、塗布面に水を散布して下地コンクリートへの吸い込みが無いことを確認して下さい。水が吸い込まれる場合は、再度塗布して下さい。(水の吸い込みが無い状態になるまでテックス7を塗布して下さい。)

(6) アタックモルタル MA-100 の標準仕様

製品名	1袋当りの標準配合			1m <sup>3</sup> 当りの標準配合	
	粉体 (kg)	水 (kg)	練り上がり量 (ℓ)	粉体 (kg)	水 (kg)
アタックモルタル MA-100	25	4.5	約 13.9	1800(72袋)	324

注)練り混ぜ水量は、施工時の気温・施工方法により変化します。1袋(25kg)当り 3.9～4.8kg の範囲で調整してください。

(1袋当りの水量の例:気温が低い場合 3.9 kg、気温が高い場合 4.8 kg)

(7) 使用上の注意事項

- 1) 粉体の取扱いは、セメントに準じて行って下さい。
- 2) 破袋または開封後、放置した製品は使用しないで下さい。
- 3) 練り混ぜ水には、上水道水を使用して下さい。
- 4) 製品の保管は、5℃以上、35℃以下の室内として下さい。
- 5) 取扱いに関する詳細な注意事項は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。